

平成27年度 入 試 【推薦入試Ⅰ】

小 論 文 問 題

(教育学部 学校教育課程Ⅰ類)

人間生活環境教育専攻

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 ページ，解答用紙 2 枚，下書き用紙 2 枚である。
指示があってから確認し，解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は，解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は，持ち帰ること。

問1 以下の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 炭水化物は、糖質と食物繊維に分類される。両者の違いを200字以内で簡潔に示せ。また、糖質は、単糖類、二糖類、多糖類に分類されるが、それぞれに属する糖質の名称を1つずつ示せ。

(2) 表1は、国民1人・1年あたりの供給純食料^{注)}の推移を示したものである。この表をもとに、近年の日本人の食生活の変化について300字で説明せよ。

表1 国民1人・1年あたりの供給純食料の推移(資料:農林水産省「食料需給表」)

単位:kg

年	穀類	内訳		いも類	豆類	野菜類	果実類	肉類	鶏卵	乳・乳製品	魚介類	砂糖類	油脂類
		米	小麦										
1960	149.6	114.9	25.8	30.5	10.1	99.7	22.4	5.2	6.3	22.2	27.8	15.1	4.3
1965	145.0	111.7	29.0	21.3	9.5	108.2	28.5	9.2	11.3	37.5	28.1	18.7	6.3
1970	128.2	95.1	30.8	16.1	10.1	114.2	38.1	13.4	14.5	50.1	31.6	26.9	9.0
1975	121.5	88.0	31.5	16.0	9.4	109.4	42.5	17.9	13.7	53.6	34.9	25.1	10.9
1980	112.9	78.9	32.2	17.3	8.5	112.0	38.8	22.5	14.3	65.3	34.8	23.3	12.6
1985	107.9	74.6	31.7	18.6	9.0	110.8	38.2	22.9	14.5	70.6	35.3	22.0	14.0
1990	103.5	70.0	31.7	20.6	9.2	107.8	38.8	26.0	16.1	83.2	37.5	21.8	14.2
1995	102.0	67.8	32.8	20.7	8.8	105.8	42.2	28.5	17.2	91.2	39.3	21.2	14.6
2000	98.5	64.6	32.6	21.1	9.0	101.5	41.5	28.8	17.0	94.2	37.2	20.2	15.1
2004	95.2	61.5	32.3	20.0	9.3	92.9	41.5	27.8	16.5	93.6	34.5	19.9	14.4

注) 供給純食料とは、最終消費された食料の当該品目の食料重量から通常の食習慣において廃棄される部分(魚の場合は骨や頭、果実の場合は皮や芯など)を差し引いた後の可食部分のことであり、人間の消費に直接利用可能な量。

(3) 図1は品目別日本の食料自給率を示したものである。図中の(ア)～(エ)にあてはまる品目を下記の(a)～(d)より選択せよ。

- (a) 野菜
- (b) 米
- (c) 大豆
- (d) 肉類

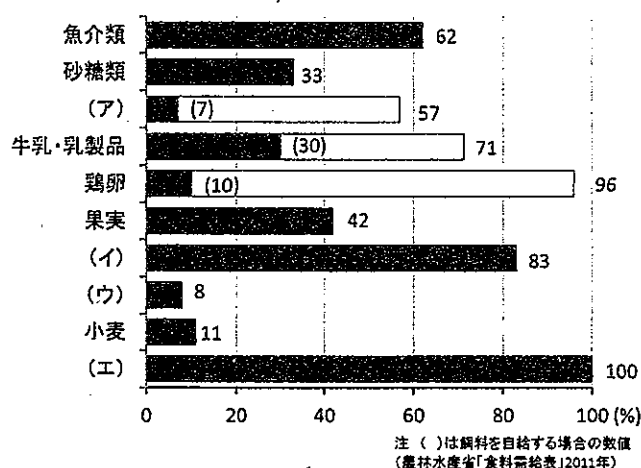


図1 品目別日本の食料自給率(2009)

問2 以下の(1)~(3)の問いに答えよ。

(1) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった、男女の役割を固定的に決める考え方を何と呼ぶか。

(2) 図1は「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うかを尋ねた結果のグラフである。このグラフから読み取れる、時代による考え方の変化・男性と女性の考え方の違いについて、200字以内でまとめなさい。

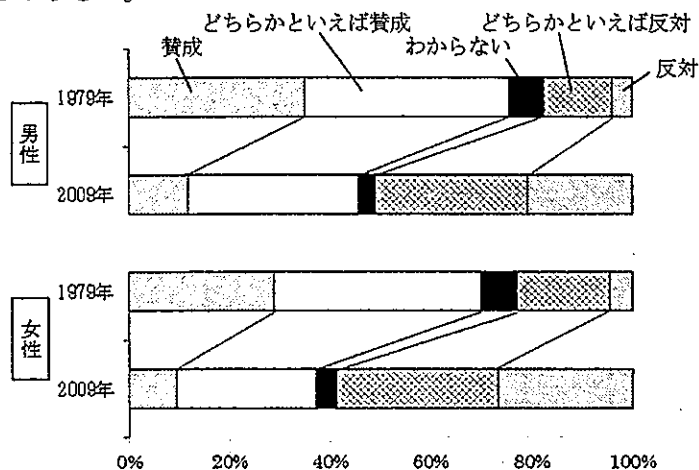
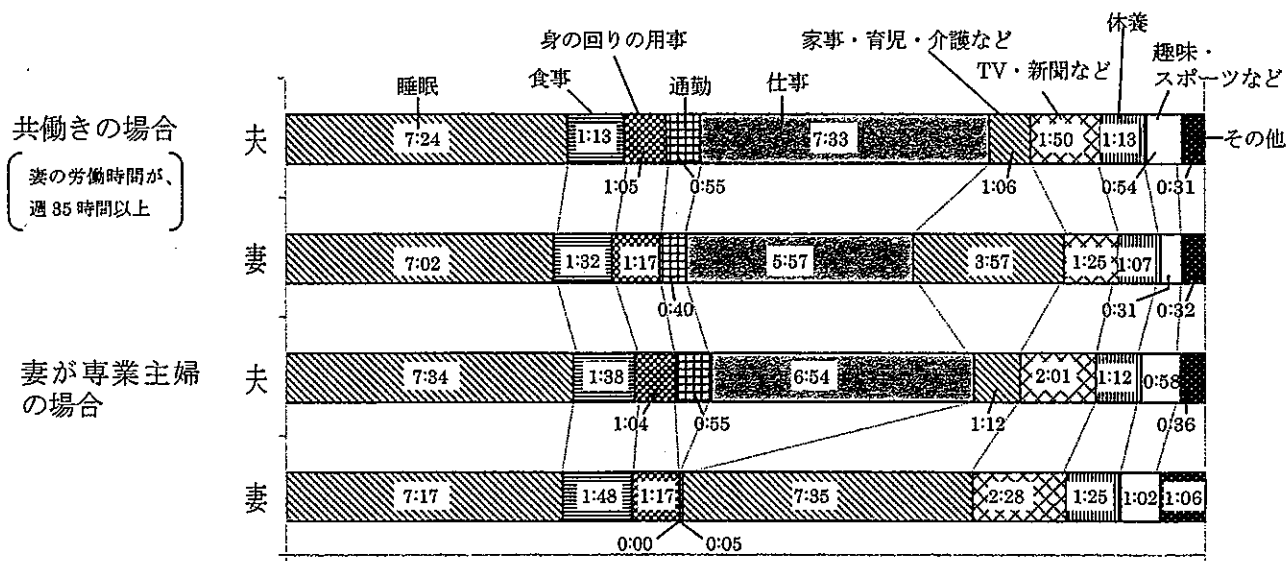


図1 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか
(内閣府『男女共同参画社会に関する世論調査(2009年)』より)

(3) 図2は「夫と妻の生活時間の違い」のグラフである。このグラフから読み取れる、夫と妻の生活時間の特徴やその時間の使い方の違いについて、400字以内で説明しなさい。



注) 図中の数字は時間を表す。(例) 7:24=7時間 24分

図2 夫と妻の生活時間の違い

(総務省『社会生活基本調査(2006年)』より)